

子どもたちを たばこの害から守ろう

■ 防府市の子育て世代の喫煙率

防府市の喫煙率は、山口県平均と比べて男女とも高くなっています。

その中でも子育て世代である30代男性の喫煙率が最も高くなっており（42.9%）、知らず知らずのうちに、たばこの煙による被害を子どもに与えている危険性が非常に高くなっています。

■ 「たばこの害」を理解しよう

たばこの煙には、約5,300種類の化学物質が含まれており、うち70種類以上は発がん性物質です。そのため、がんや動脈硬化、脳卒中、心筋梗塞等の疾病のリスクが高くなります。

主流煙（一次喫煙：喫煙している本人が口から直接吸い込む煙）よりも、**副流煙**（二次喫煙：他の人が吸っているたばこの先から出る煙）に、多くの有害物質が含まれています。

たばこの煙を子どもが吸い込むことで、喘息・気管支炎・中耳炎などの発症、乳幼児突然死症候群（SIDS）を引き起こすことが指摘されています。



■ 「ベランダで吸っているから大丈夫」と思っていますか

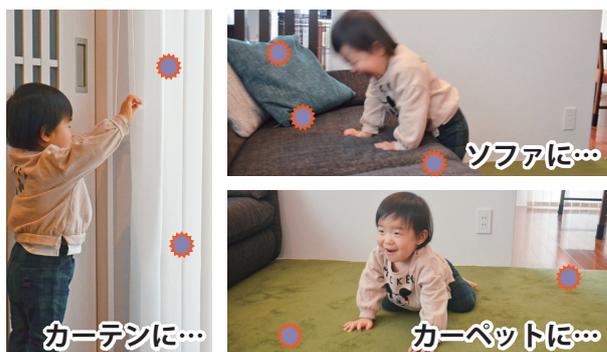
「たばこはベランダで吸っているから大丈夫」「換気扇の下で吸っているから大丈夫」…と考えがちですが、衣服に付着したたばこの煙や有害物質は、空気中を漂い、室内の壁や床、カーテンに付着します。

乳幼児が室内でハイハイやつたい歩きをする時、たばこの有害物質が手に付着し、そのまま口に運んでしまうことの危険性が近年指摘されています。

たばこは、自分自身だけでなく、愛する家族の健康にまで被害を及ぼしてしまいます。

子どもは、自分の意思でたばこの煙を避けることはできないため、周りにいる大人が守ってあげることが大切です。

各医療機関や市保健センターでは、禁煙相談を行っています。勇気をもって、禁煙をはじめませんか？



問 健やかほうふ21計画(第二次)推進委員会事務局【市保健センター・☎24-2161】